

1. ゼロカーボン社会

「省エネルギー推進や再生可能エネルギー利用拡大などにより、温室効果ガスの大幅な排出削減を図るとともに、気候変動への適応を進め、脱炭素化を通じてゼロカーボン社会の実現をめざします。」

■施策の展開

1-1 脱炭素社会へ移行する

1-1-1 ゼロカーボンシティをめざす第一歩を踏み出します。

①「ゼロカーボンシティ 2050 はんだ」ビジョンの策定

1-1-2 家庭の脱炭素化を進めます。

①環境配慮型住宅用設備の導入

②家庭部門CO₂排出実態把握

③クールチョイスの推進

1-1-3 事業所等の脱炭素化を進めます。

①環境に配慮した事業活動の促進

②中小事業者向け省エネ診断の受診促進

③省エネや再生可能エネルギー調達100%化の普及啓発

④CO₂ゼロチャレンジ企業の情報収集・発信

1-1-4 移動における脱炭素化を進めます。

①環境配慮型自動車の導入促進と燃料充填設備の整備促進

②公共交通機関の利用促進

③環境に配慮した自動車利用の推進

④JR武豊線の鉄道高架化

1-1-5 再生可能エネルギーの最大限の活用に取り組みます。

①地域新電力事業の導入

②地域バイオマスのエネルギー資源としての活用促進

1-1-6 市（行政）が率先して脱炭素化の行動を示します。

①公共施設におけるCO₂排出削減対策の推進

②公共施設での再生可能エネルギーの利用促進

③公共施設における再生可能エネルギー調達100%化の推進

④環境配慮型自動車の導入促進と災害時の活用

⑤公共施設への緑のカーテン設置

1-2 気候変動に備える

1-2-1 多様な主体との連携により、気候変動適応策に取り組みます。

①気候変動への適応に関する情報収集

②気候変動適応化計画の策定

③適応策の情報提供・普及啓発

◆施策の進捗を見る指標・目標

指標名		現状値 (R1)	中間目標値 (R7)	目標値 (R12)
CO ₂ 排出量	総排出量	1,167千トンCO ₂ (H29)	1,077千トンCO ₂ (R5)	976千トンCO ₂ (R10)
	うち家庭部門	159千トンCO ₂ (H29)	119千トンCO ₂ (R5)	95千トンCO ₂ (R10)
	うち業務部門	187千トンCO ₂ (H29)	146千トンCO ₂ (R5)	114千トンCO ₂ (R10)
半田市役所におけるCO ₂ 総排出量		8,177トンCO ₂	6,747トンCO ₂ (R6)	5,013トンCO ₂
公共施設での太陽光発電の導入 (最大発電電力)		1,080kW	1,140kW	1,260kW
環境配慮型住宅用設備* (助成利用)の導入件数(累計)		—	240件	540件

※環境配慮型住宅用設備：太陽光発電施設+HEMS+高性能外皮など(ZEH)、太陽光発電施設+HEMS+家庭用蓄電池または太陽光発電施設+HEMS+電気自動車等充電設備など



(指標・目標の状況)

指標名		R3	R4	R5
CO ₂ 排出量	総排出量	1,068千トンCO ₂ (R1)	1,069千トンCO ₂ (R2)	1,073千トンCO ₂ (R3)
	うち家庭部門	136千トンCO ₂ (R1)	135千トンCO ₂ (R2)	130千トンCO ₂ (R3)
	うち業務部門	151千トンCO ₂ (R1)	132千トンCO ₂ (R2)	155千トンCO ₂ (R3)
半田市役所におけるCO ₂ 総排出量		7,825トンCO ₂	7,621トンCO ₂	7,103トンCO ₂
公共施設での太陽光発電の導入 (最大発電電力)		1,080kW	1,080kW	1,100kW
環境配慮型住宅用設備* (助成利用)の導入件数(累計)		—	96件	117件

■主な実施事業等

ゼロカーボンシティ 2050 はんだビジョンの普及啓発

ゼロカーボンシティ 2050 はんだビジョンの目標達成にむけ、市報や HP への掲載、地球温暖化防止月間におけるシールアンケートや市民討議会の事前勉強会などを行い、市民への普及啓発に努めました。

環境配慮型住宅用設備の導入

住宅用地球温暖化対策設備に係る購入費・設置費の一部を助成し、家庭における二酸化炭素排出削減を図りました。 交付実績：114 件

省エネ家電製品の導入

エネルギー消費性能の優れた省エネ家電製品に係る購入費の一部を助成し、家庭における光熱水費及び二酸化炭素排出量の削減を図りました。 交付実績：487 件

電気自動車の導入（公用車）

電気自動車を公用車として新たに 1 台導入するとともに、2030 年度までに代替え可能な公用車の 50% を目標に電動車化する計画を策定しました。

公共交通機関の利用促進

路線バスについては、夜間運行キャンペーン、車両展示、各地域バス会と連携した広報等により、認知度の向上を図りました。交通空白地域の解消に向け、横川地区で実証実験を行い、令和 6 年度からの本格導入が決定しました。

地域バイオマスの活用促進

半田市とバイオマス産業都市構想に取り組んでいるビオクラシックス半田が、メタン発酵によるバイオガス発電に加え、発電の廃熱・廃ガスを活用したトマト工場が稼働し、市場へ流通しました。また、タイ・バンコクにおける国際セミナーで、先進事例として発表し、本構想の PR につなげました。

公共施設の ZEB 化

建て替えを予定している亀崎小学校において、ZEBready を前提とした基本設計を行いました。

半田市役所本庁舎 CO2 フリー電力の導入

発電時に二酸化炭素を排出させない CO2 フリー電力を半田市役所本庁舎で継続し、二酸化炭素排出削減を図りました。

公共施設における LED 照明の導入

公共施設等 76 施設の照明を LED 照明に更新し、主な公共施設等において照明の LED 化を終え、二酸化炭素排出削減を図りました。

公共施設への「緑のカーテン」設置

小中学校、児童センターに緑のカーテンを設置し、冷房にかかるエネルギー使用量を抑制しました。

小中学校及び児童館：25 か所



環境に配慮した事業活動の促進

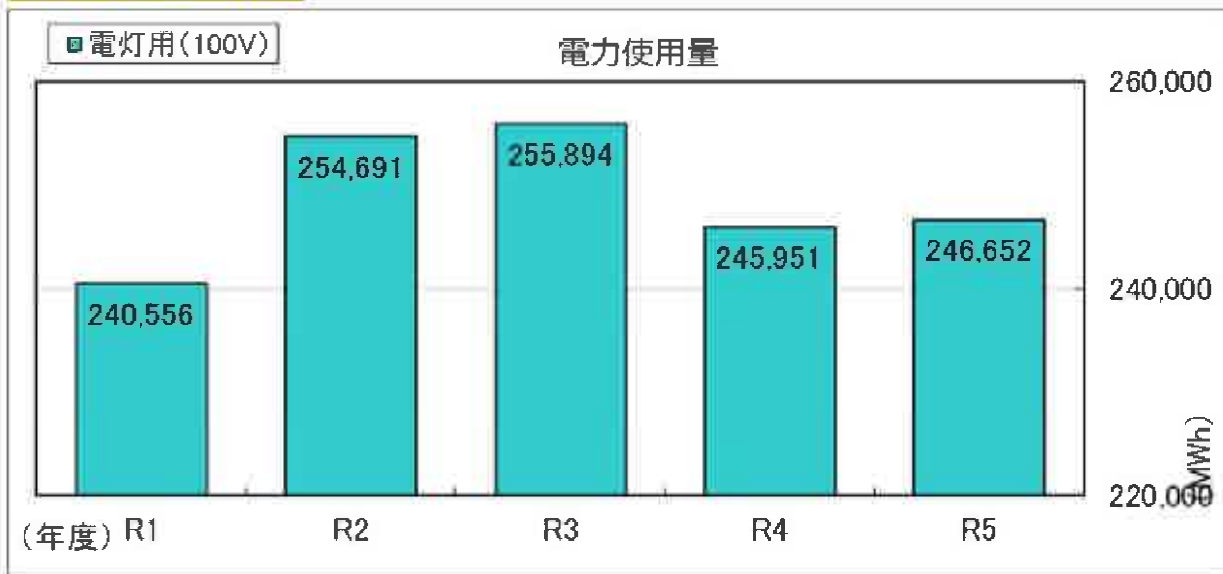
中小企業向け省エネセミナーをセミナー会場に加え、新たにオンライン会場を設けて開催し、事業所における脱炭素経営の必要性や補助金活用を推奨しました。 セミナー：1 回

あいち脱炭素経営支援プラットフォーム

愛知県が実施する中小企業における脱炭素経営の普及・浸透を図るためのあいち脱炭素経営支援プラットフォームに参画しました。

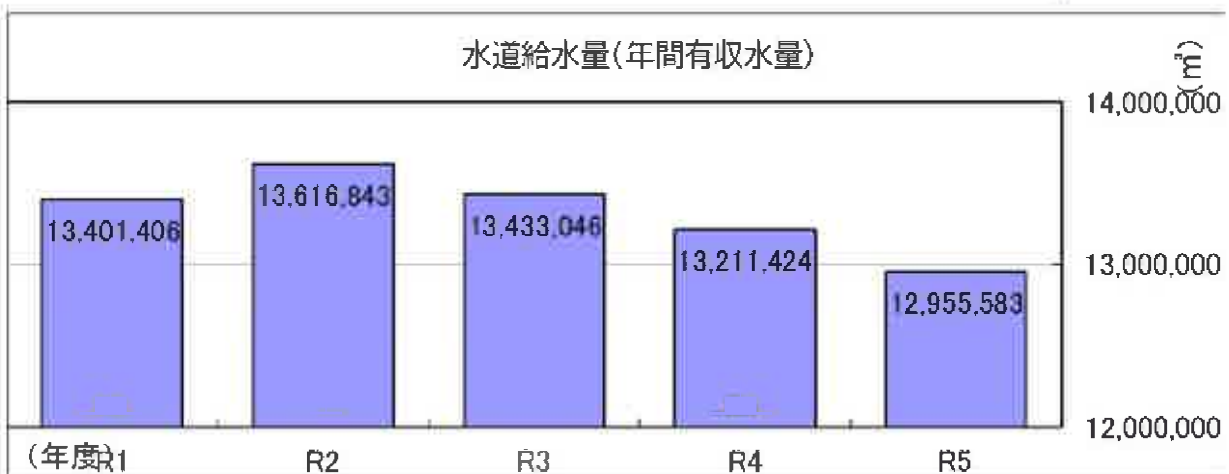
■環境状況等

(1) エネルギー使用量



※MWh=kWh×1,000

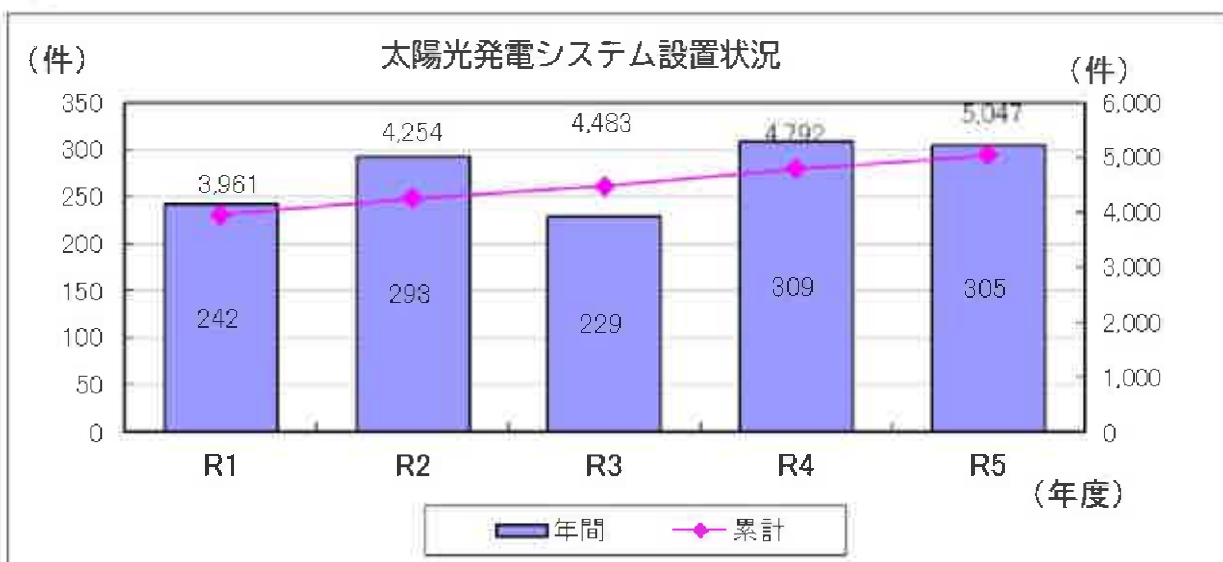
資料：「中部電力」



資料：「半田市」(上水道課)

(2) 太陽光発電設置システム

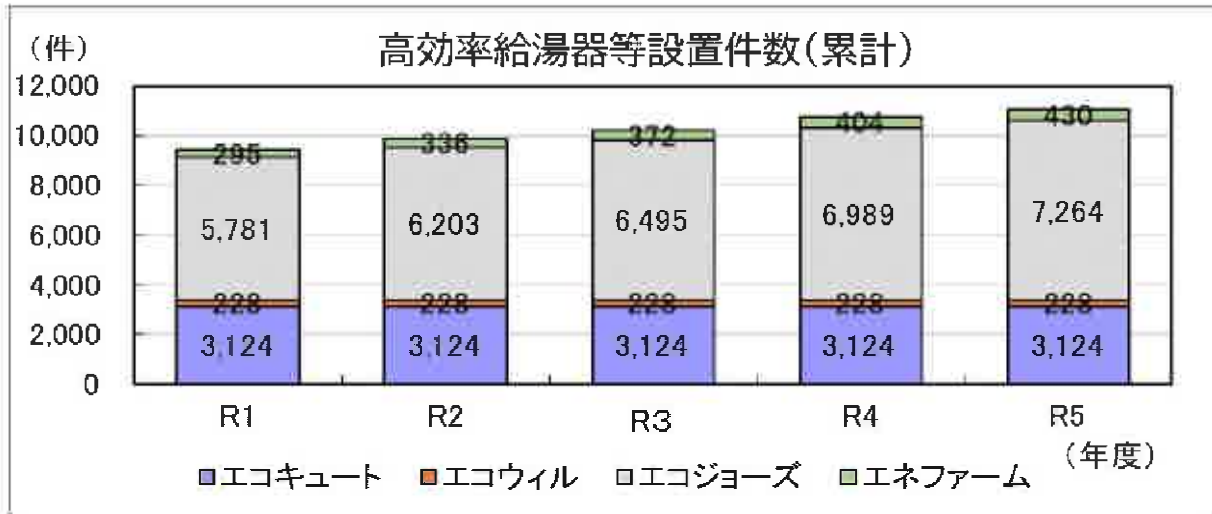
太陽光発電システムの設置台数(単位：台)



資料：「中部電力」

(3) 高効率給湯器

高効率給湯器設置台数 (単位：台)



※平成 25 年度からエコキュートの統計を取りやめたため、「3,124」を固定として、増減数「0」として表示しています。
資料：「東邦ガス」

(4) 交通

① 鉄道



※各駅の1日当たりの平均乗車数に365日をかけて、年間利用者数とした。
※半田駅の利用者数については、固定しています。

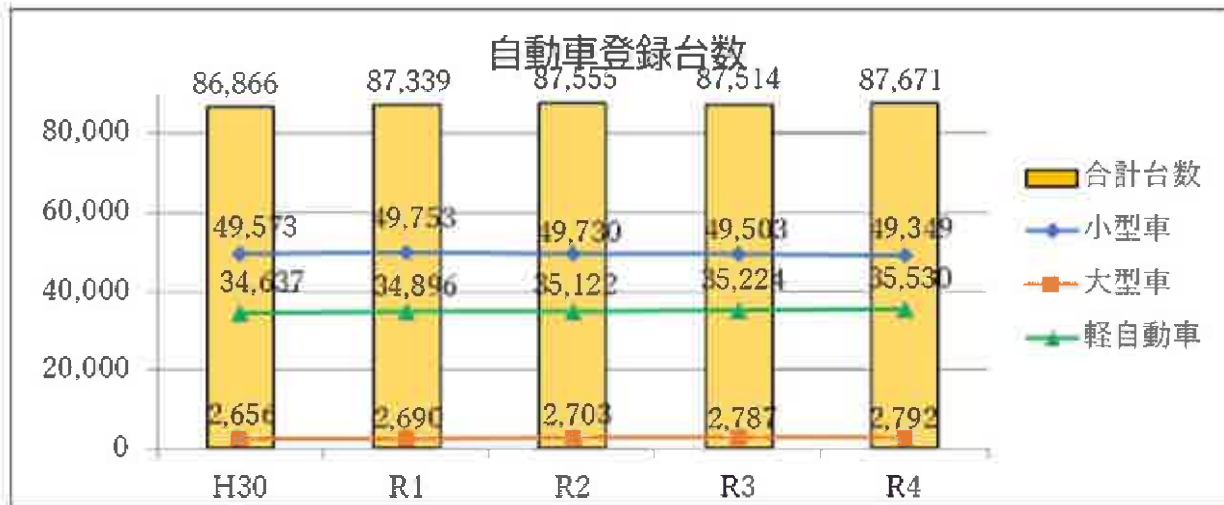
※2年遅れで公表
資料：「知多半島の統計」



※各駅の1日当たりの平均乗車数に365日をかけて、年間利用者数とした。

※2年遅れで公表
資料：「知多半島の統計」

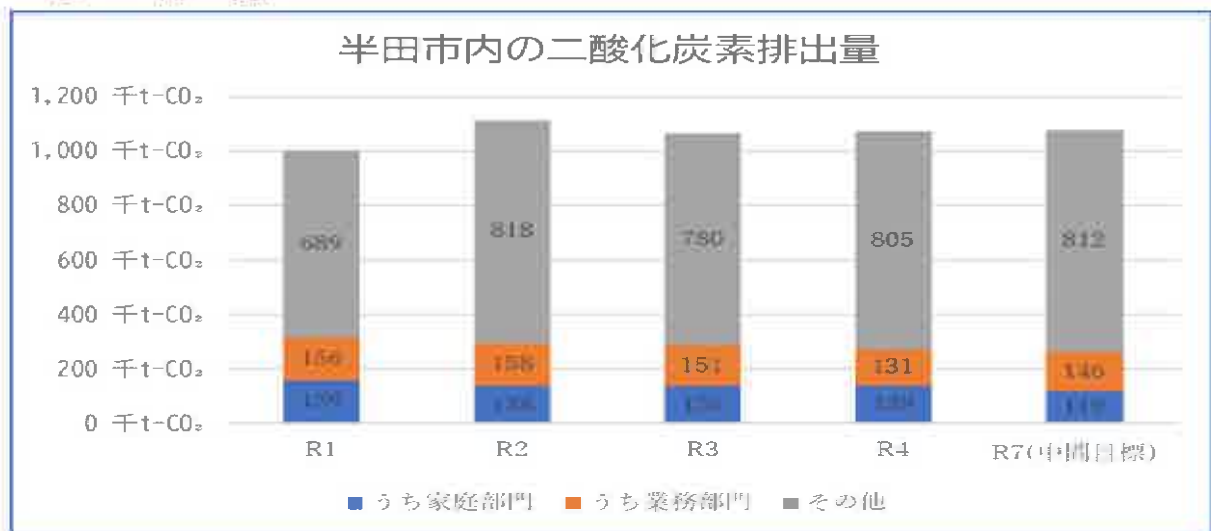
②自動車



※2年遅れで公表
 ※特殊車両・被けん引等は除く。 資料：「愛知県統計年鑑」

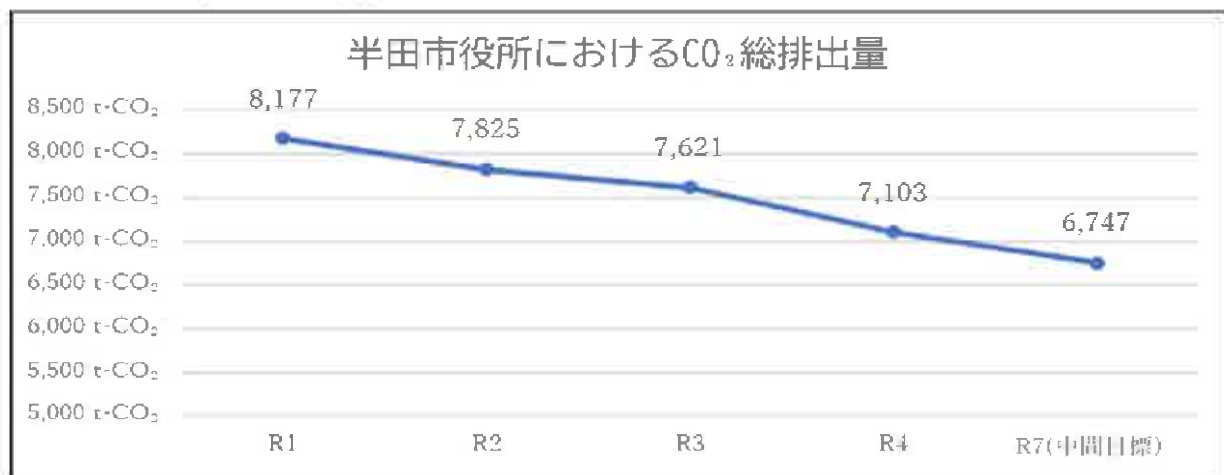
(5) 脱炭素

①半田市内の二酸化炭素排出量



資料：「半田市」(環境課)

②半田市役所における二酸化炭素排出量



資料：「半田市」(環境課)